

プログラム	加津佐小学校・障がい者の交流事業		
実施者	南島原市(福祉課)、加津佐小学校		
関係機関	南島原市社会福祉協議会、ほかにわ共和国(障害者施設)、雲仙会(精神障害者の家族会)		
実施期間	令和7年9月9日～令和7年10月3日	科目等	総合的な学習の時間 (4コマ ※1コマ45分間)
事例の概要	小学4年生を対象に障がい者の理解を促すため、事前授業と施設訪問を行う。	事業費	72,000円
実施した背景	行政主体の事業。より深く理解してもらうために関係機関(社協、障害者施設など)を巻き込むことで現在の体制になった。	目的の達成状況	事前授業では各分野の担当者が講師を務めることで飽きずに関心を持ってくれた。 また、事前授業で学んだ上で障がい者との交流をすることで、より深い理解が得られた。
発案者	<input type="checkbox"/> 社協 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> その他( )	発案時期	令和7年8月頃
関係者	社協 2人 学校 2人 行政 1人 施設 1人 その他(雲仙会1人、当事者1人、保護者1人)	協議時期	令和7年9月頃
導入準備	①期間 令和7年8月～令和7年9月 ②関わった人 7人 <input checked="" type="checkbox"/> 社協 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他(精神障害者の家族会) ※詳しい情報は、こちらから <a href="#">南島原市社会福祉協議会・加津佐小学校(導入準備)</a>		
体験(概要)	事前学習としてR7.9.16(火)の5～6校時を使って次の内容を実施。 ①講話「障害について」…市保健師、②体験「アイマスク」…社協、③講話「視覚障がい者として伝えたいこと」…当事者、④講話「心臓と脳の病気」…保護者、⑤施設紹介…施設職員 事前学習後は、関係者で反省かと次回の実践に向けた確認を行った。 ※詳しい情報は、こちらから <a href="#">南島原市社会福祉協議会・加津佐小学校(体験)</a>		
実践(概要)	実践はR7.10.3(金)の3～4校時を使って以下の内容を実施。 ①オリエンテーション…学校、②ほかにわ共和国(障害者施設)へバス移動、③施設見学(3班に分かれ入所施設、デイサービス、就労支援B型を見学)…市、学校、社協、雲仙会、④交流会(入所者と玉入れなど)…市、学校、社協、雲仙会、⑤学校へバス移動 ※詳しい情報は、こちらから <a href="#">南島原市社会福祉協議会・加津佐小学校(実践)</a>		
所感(概要)	今年度の4年生には心臓と脳に障がいがある児童がおり、その保護者が「子どものことを知ってもらいたい」と障がいについての説明をしてくださったことが今までなかった部分なので、主催者側としても新たな気づきがあった。 施設見学の時は入所者と何を話せばいいか戸惑って膠着状態になった班もあったので、施設側との打ち合わせを入念にしておくべきとの反省があった。 ※詳しい所感は、こちらから <a href="#">南島原市社会福祉協議会・加津佐小学校(所感)</a>		
リンク	なし <a href="#">南島原市社会福祉協議会・加津佐小学校(リンク)</a> ※HPや広報誌等事例の参考になるもの。		

加津佐小学校とともに PG（導入準備）＜南島原市社会福祉協議会＞

①期間 令和7年8月 ～ 令和7年9月

②関わった人 7人  社協  学校  行政  施設  
 その他（雲仙会（精神障害者の家族会））

③導入準備内容・スケジュール

期日	場所	項目	内容
R7.9.9(火) 16:00～17:00	加津佐小学校	第1回企画会議	1.事前事業について 2.施設訪問について

④実施計画

期日	場所	項目	内容
R7.9.16(火) 13:45～15:40	加津佐小学校	事前授業 第2回企画会議	1.講話「障害について」…行政(福祉課) 2.体験「アイマスク」…社協 3.講話「視覚障がい者として伝えたいこと」…当事者 4.講話「心臓と脳の病気」…保護者 5.講話「施設紹介」…障害者施設(見学先) 6.反省会/第2回企画会議…行政、社協、学校、施設
R7.10.3(金) 9:00～11:40	ほかに和共和国 ・ハ雲寮 ・デイ雲 ・ワークネットやはた	施設訪問	1.オリエンテーション→施設へ移動(バス) 2.施設見学(3班に分かれ3事業所をローテーション) 3.交流会(玉入れを使ったレクリエーション) 4.お礼のあいさつ→学校へ移動(バス)

加津佐小学校とともに PG（体験）＜南島原市社会福祉協議会＞

①日時 令和7年9月16日（火）

②場所 加津佐小学校

③関わった人 9人

（ 社協  学校  行政  施設

その他（ 視覚障害者、障害児の母親 ））

④活用した機材・準備物

・アイマスク ・ティッシュ ・クリップ ・プロジェクター ・スクリーン

⑤内容

日時：令和7年9月16日(火)5～6時間目

場所：加津佐小学校（4年生教室）

目的：児童が障がい者についての正しい知識を学び、理解を深める。

時間	内容	担当者	備考
13:45～13:55 (10分)	はじまり（児童挨拶）	4年生担任・児童代表	
	講話「障がいについて」	行政（福祉課障害班）	班長
13:55～14:35 (40分)	体験「アイマスク」	社協（地域福祉課）	SC2名、課長
	講話「障がい者として伝えたいこと」	アイ愛会	当事者
14:35～14:45（10分）休み時間			
14:45～15:05 (20分)	講話「心臓と脳の病気」	保護者	同クラスの当事者の母親
15:05～15:10 (5分)	講話「施設紹介」 ・ハ雲寮 ・デイ雲 ・ワークネットやはた	ほかに和共和国	相談員
15:10～15:20 (10分)	おわり（児童挨拶）	4年生担任・児童代表	
15:20～15:40 (20分)	反省会 第2回企画会議	行政、学校、社協、施設	・本日の振り返り ・次回(施設訪問)の日程・流れの確認



講話「障がいについて」※3 障がいの説明



体験「アイマスク」※視覚障害の説明



体験「アイマスク」※紙袋のクリップを数える



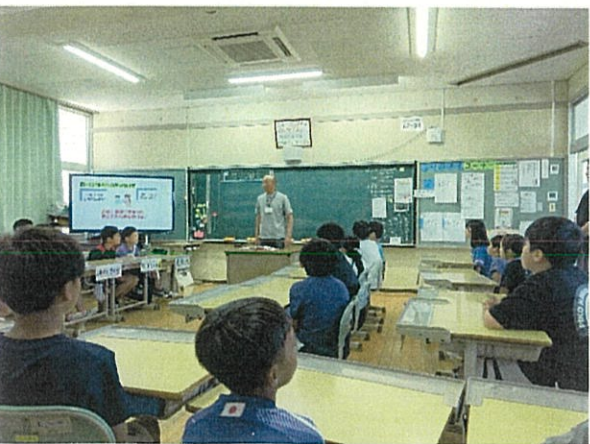
講話「障がい者として伝えたいこと」※当事者の話



講話「障がい者として伝えたいこと」※児童からの質問



講話「心臓と脳の病気」※子どもの成長を紹介



講話「施設紹介」※訪問先の説明



終わりの挨拶

加津佐小学校とともに PG（実践）＜南島原市社会福祉協議会＞

①日時 令和7年10月3日

②場所 ほかに和共和国（八雲寮、デイ雲、ワークネットやはた）

③関わった人 9人

（ 社協  学校  行政  施設

その他（雲仙会（精神障害者の家族会））

）

④活用した機材・準備物

スクールバス、ジャンボタクシー、レクリエーション資材（玉入れなど）

⑤内容

日時：令和7年10月3日(金)9:00～11:40

場所：ほかに和共和国（八雲寮、デイ雲、ワークネットやはた）

目的：①児童が地域に住む障がい者の日中の過ごし方を学ぶ。

②児童が「事前授業」で学んだ障がい者との接し方を実践する。

グループ		1班：児童8名	2班：児童9名	3班：児童9名
		※リーダー、副リーダー各1名		
施設名称		八雲寮	デイ雲	ワークネットやはた
引 率	学校	1名	1名	1名
	雲仙会		1名	1名
	行政	1名		
	社協	1名	1名	1名
9:00	集合…体育館横駐車場 オリエンテーション（1日の流れを説明）			
9:10	学校出発 （ほかに和共和国へバス移動）			
9:20	現地到着			
9:30	施設訪問（3つの施設を3班で20分ずつローテーション） ①八雲寮…入所施設 ②デイ雲…デイサービス ③ワークネットやはた…就労継続支援B型			
10:30	交流会 ①グループ名考案（プラカード作成） ・障害者の方も各班に入り話し合う。			

	<p>②玉入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と障がい者が交互に並び、スタートの人から順に玉を隣の人に受け渡していき、最後に受け取った人がかごに投げ入れ、スタート位置に回る。</li> <li>・これを繰り返し、時間内に最も多くの球を入れた班の優勝</li> </ul>
11:30	<p>交流終了 (加津佐小学校へバス移動)</p>
11:40	<p>学校到着・給食</p>
11:50	<p>反省・感想…行政、学校、社協、雲仙会</p>



施設訪問「最初の挨拶」



施設訪問「ワークネットやはた」※就労継続支援B型



施設訪問「八雲寮」※入所施設



交流会「チーム名考案」



交流会「玉入れ」①



交流会「玉入れ」②

## 加津佐小学校とともに PG（所感等）＜南島原市社会福祉協議会＞

### 1、所感

#### ①事前授業

- ・積極的に発言（質問）する児童が多かった。
- ・説明は短時間で、いろんな人が関わることで児童が飽きずに話を聞けていた。
- ・体験を入れるタイミングも良かったと思う。
- ・講話や体験で4年生への説明内容（言葉の選び方）が上手だった。
- ・「障がい＝不幸」ではないことを伝えられたと思う。

#### ②施設訪問

- ・子どもがメモを取る時間を、もう少しとった方がいいと思う。
- ・障がい者を目の前にして固まっていた子が多かった。何を話したらいいかを事前に考えておくコミュニケーションがとりやすかったと思う。
- ・去年の、ほかに和共和国の運動会では、加津佐小学校の児童がボランティアで5～6名参加していた。このような体験・実践が、つながりを生むきっかけとなっている。

### 2、今後の取り組みについて

- ・加津佐小学校での交流事業は毎年継続予定。
- ・他校への普及を検討したこともあるが、この内容（ボリューム）を組み込める余裕がないとのことで停滞中。
- ・移動する際、安全面に考慮してバスやタクシーを利用することになるが、その費用を確保することが困難。
- ・社協で共同募金事業に絡めて、児童・生徒が自主的に考案する福祉活動に費用を出す仕組みがある。この事業をきっかけに福祉活動の実践を広めたい。